

平成29年度
南北朝の歴史講演会

懐良親王 と 忽那一族

忽那諸島を含む瀬戸内海
(松山市 CC BY 4.0 [外部サイト])



国指定重要文化財 忽那家文書(忽那家所蔵)

忽那氏／「海の武士団」忽那氏は、平安時代末期頃に忽那島(現：愛媛県松山市中島)の開発領主として登場しました。鎌倉時代には地頭職に補任され、南北朝時代には、後醍醐天皇の命を受けて下向する懐良親王一行を3年間保護するなど、南朝方として活躍しました。

平成30年1月28日[日]

(開場13:00) 13:30～15:10 入場無料[申込不要]

八女市民会館 おりなす八女
はちひめホール(小ホール)

福岡県八女市本町602-1 ☎0943-22-5332

講師／山内 譲氏
(元松山大学教授)



1948年愛媛県生まれ。京都大学文学部史学科卒業。愛媛県内の高校教員等を経て、松山大学法学部教授となる。2017年退官。日本中世史専攻。著書に『中世瀬戸内海地域史の研究』『中世の港と海賊』など。

お問合せ

〒834-8585福岡県八女市本町647
八女市役所 新社会推進部 文化振興課 文化財保護係
☎0943-23-1982

主催／八女市 後援／八女市教育委員会